



YANMAR

News Release

2026年4月7日

ヤンマーホールディングス株式会社

## 福岡県北九州市にデータセンター向け非常用発電システム の新工場を建設



<北九州市に建設予定の新工場パース図>

ヤンマーホールディングスのグループ会社であるヤンマーエネルギーシステム株式会社は、データセンターにおける非常用発電システムの旺盛な需要に対応すべく、福岡県北九州市に新工場の建設を開始します。

本工場は、製造子会社であるヤンマーエネルギーシステム製造株式会社の中核拠点として2028年内に操業開始する計画です。工場用地取得にあたり、北九州市と2026年4月7日(火)に立地協定を締結しました。

ヤンマーエネルギーシステムは今後急速に拡大するデータセンター向けのBCP需要に応えるため、2025年10月に大容量非常用発電システム「GY175シリーズ」を発表しました。既存の2,000kVAクラス対応機種に加え、2026年度以降に3,000kVAクラス、2028年度以降に4,000kVAクラスへ展開します。今後は北九州新工場を軸に、AIをはじめとしたDX推進に不可欠なデータセンターに加え、工場やビル、病院などの大規模施設のBCP需要に対応できるラインアップ強化と供給体制を構築します。

将来的には非常用発電システムに加え、カーボンニュートラルに貢献するエネルギーシステム機器の生産も視野に入れた、エネルギーシステム製造における中核拠点として本格稼働を目指します。

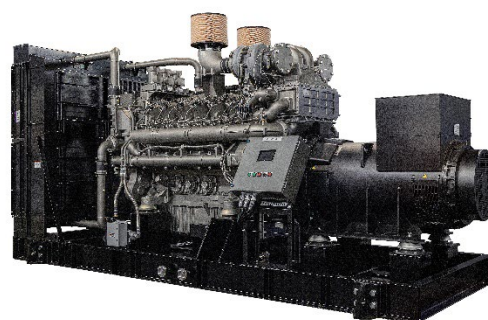
北九州市は、陸・海・空にわたる物流基盤やサプライヤーの集積など「ものづくり」のインフラが整った好立地です。加えて、再生可能エネルギー関連産業の集積が進むなど、ヤンマーグループが目指す方向性と合致し、福岡県、岡山県、兵庫県の当社関連製造拠点との連携も図りやすいことから、新拠点に選定しました。

## ■新工場概要

工場名	北九州工場(仮称)
建設予定地	福岡県北九州市若松区向洋町
敷地面積	62,000 m <sup>2</sup>
操業開始予定時期	2028 年

非常用発電システム「GY175 シリーズ」について

<https://www.yanmar.com/jp/energy/news/2025/10/08/157276.html>



<締結式の写真(左)、非常用発電システム「GY175 シリーズ」(右)>

※左: ヤンマーエネルギーシステム株式会社 代表取締役社長 山下宏治

中央: 北九州市 武内 和久 市長

右: ヤンマーエネルギーシステム製造株式会社 代表取締役社長 進 敏幸

<ヤンマーについて>

1912 年に大阪で創業したヤンマーは、1933 年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。大地・海・都市のフィールドで、エンジンなどのパワートレインを軸に、アグリ・建機・マリン・エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開し、顧客価値を創造するソリューションを提供しています。創業以来受け継ぐ、人と未来の可能性を信じ挑戦を後押しする「HANASAKA」の精神を原動力に、「A SUSTAINABLE FUTURE –テクノロジーで、新しい豊かさへ。」の実現を目指します。

<https://www.yanmar.com/jp/about/>

<注記>

記載内容はリリース発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマーホールディングス株式会社

マーケティング部 コーポレートコミュニケーション部

E-mail: [koho@yanmar.com](mailto:koho@yanmar.com)